

文字を大切にし、生きる力を育む書写学習

主体的・対話的に学び、書く喜びを味わうことのできる書写学習

吉野川市立西麻植小学校 教諭 江本 奈央

1 はじめに

本学級の児童は、何事にも興味をもって取り組み、新しく始まった毛筆学習も楽しみにしている。普段から、「とめ」「はね」「はらい」等に気をつけて丁寧に書くように指導しているが、基本の点画が乱雑で、マスからはみ出して書いている児童もいる。5月に行ったアンケートでは、文字を書くことが好きな児童は少なかったが、毛筆学習には大変意欲的であった。また、自分の書いた文字が好きでない児童が多く、全員が「字を書くのが上手になりたい」と答えた。そこで、毛筆のよさを生かしながら、文字を書く楽しさを感じさせ、硬筆で文字を丁寧に書くことへの意欲につなげたい。そして、自分の文字を好きになってほしい。

2 研究主題について

文字を大切にし、生きる力を育むためには、児童一人一人が自分のめあてをもち、課題を解決するために主体的に取り組んだり、他者と協働する対話的な学習に取り組んだりすることが必要であると考え。自ら考えて進んで活動したり、自分や友達のよさを認め合ったりすることで、「できなかったことができた」「学んだことが他の学習や日常生活に生かされた」と実感したとき、子どもたちは喜びを感じ、書く楽しさを味わうことにつながるはずである。書写学習を通して、共に活動する楽しさや、学びが生活に生かされる喜びを味わわせるとともに、一文字一文字を大切にすることを育てたいと考え、実践に取り組んだ。

3 指導の実際

(1) 児童の実態

(2) 書写授業での実践

① 基礎・基本の定着を目指して

ア. 毛筆用具の準備と片付け イ. 書写用語 ウ. よい姿勢の合い言葉

② 主体的・対話的に取り組むために

ア. 学習の進め方 イ. 教材・教具の工夫 ウ. 自分のめあて エ. 自己評価と相互評価

③ 書く楽しさを味わうために

ア. 大きく書こう イ. 書写リレー ウ. お気に入りの一文字

(3) 他教科や日常生活との関連（俳句づくり・お礼の手紙・ノートコンテスト・連絡帳クイズ 等）

4 成果と今後の課題

自分のめあてを決め、それに向けて適切な練習方法を自ら選んで練習する学習の流れが定着したことで、主体的に取り組むことができた。事後のアンケートでは、自分の書いた文字が好きという児童が増え、文字を書くことに消極的だった児童も、文字を書くことが好きと答えていた。さらに、書写で学習したことが、普段の文字に表れている児童もいる。しかし、日常の書字活動に生かそうとしている児童はまだ少ない。

5 おわりに

学習の進め方の定着や教材・教具の工夫により、見通しをもって主体的に取り組むことができた。相互評価する場を設定することにより、自分や友達のよさに気付き、認め合うことで、自分なりに書けた喜びや認められた喜びが書く楽しさにつながった。何よりも生き生きとした様子で、書き終わった作品を手に取り、笑顔を見せる様子が増えた。子どもたちが自分の書いた文字を大切にし、書く喜びを感じ、日常生活に生かしていく力を育むことができるよう、今後も研究を重ねていきたい。